

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査の結果 の報告と今後の取組について

熊中だより

校長室通信
第 17 号
北九州市立熊西中学校
校長 安部朋恵

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成 29 年 4 月 18 日（火）に、3 年生を対象として、「教科（国語、数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

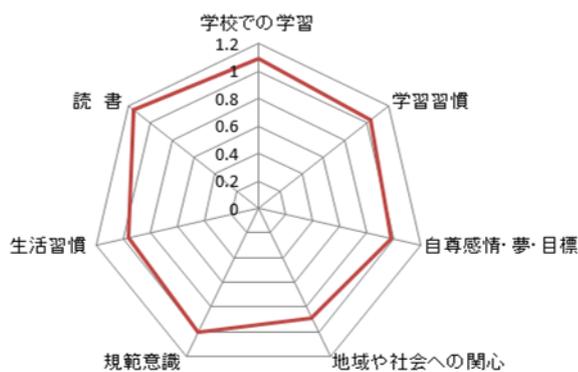
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析(傾向や特徴) | 全国平均正答率との比較 |
|-------|---|-------------|
| 国語A | ・どの項目も正答率が高く、全国平均正答率を上回っている。 ・話し合いの記録として適切なものを選択する問題や、古典に関する関心や知識がやや低い傾向がみられる。 | 上回っている |
| 国語B | ・全ての項目が全国平均を上回っているが、特にスピーチに関する問題等の音声言語に関する内容が理解できていたと思われる。 ・比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書くことについて今後改善が必要である。 | 上回っている |
| 数学A | ・2 学年で学習した内容(図形の性質の証明等)についての正答率が高く、1 年生で学習した内容(方程式、空間図形等)の正答率が低かった。 | 下回っている |
| 数学B | ・前年度と比べ、証明の問題には一定の成果がみられた。 ・数学的な判断力や表現力を問う問題に課題がみられた。 | 同程度 |

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・昨年度と比較して、「学校での学習」「学習習慣」「読書」の項目で全国平均を上回った。また、「地域や社会への関心」「生活習慣」の項目では全国平均を下回った。
- ・早寝・早起き・朝ごはんなど、生活習慣に関する指導を行うとともに、地域の行事や祭りに関心を持ち、積極的に参加する取り組みを継続していく。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)
 - ・授業の「めあて」「まとめ」について、生徒が授業を見通すことのできる「めあて」を提示したり、1 時間の学習の振り返りを伴った「学習のまとめ」を行う。
 - ・「言葉の力」を育むために、毎時間、生徒が学習のまとめを自分の言葉で書いたり、発表したりできるように、指導を行う。
- ② 家庭生活習慣等に関する取組
 - ・熊中ノートなどを活用し、家庭学習の時間を確保するとともに、質を充実させる指導を行う。
 - ・昨年度から引き続き、『携帯・スマホ電源 10 時 OFF』の取組への協力を通信等で保護者にもお願いし、生活習慣の定着を図る。